

平成28年度 事務事業評価シート

事務事業の概要	事務事業名	耳の健康相談					所管	健康部 保健サービス課			
	行政計画	事業NO.	—	計画事業名	(行政計画外事業)			事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標]							[事業開始]		昭和43年度
		[小 柱]							[終了予定]		— 年度
		[施 策]									
	根拠法令等	その他		[法令等名]	なし						
	事業対象	一般区民									
	事業目的	耳鼻咽喉の疾患予防のため、区民への耳の健康に関する知識の普及啓発を図ることを目的とする。									
	事業内容	平成24年度より、3月3日を中心に行われる「耳の健康週間」行事の一環として、「耳の講演会」を実施している。「耳の健康相談」は、平成23年度より、日本耳鼻咽喉学会の主催となり、区は後援という立場をとっている。									
委託の有無	なし		委託内容								
補助金の有無	なし										
事務事業の実績	種 別	指標の名称		(単位)	目標値 (30年度)	25年度	26年度	27年度			
	活動指標	実施回数		(回)	1	1	1	1			
		講演会参加者数		(人)	50	36	54	26			
	決算額 (単位：千円)						48	35	33		
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			426	170	80				
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			10	9	8				
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			39	26	26				
		総経費			475	205	114				
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			0	0	0				
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0				
一般財源 (区負担額)			475	205	114						
前回評価から改善した事項	今後の事業運営における参考とするため、講演会の際に参加者アンケートを実施した。										
評価の視点	評価	評価の理由									
	必要性	2	区民の耳鼻咽喉の疾患を予防するため、知識の普及啓発は重要であるが、講演会の参加者数は減少しており、事業内容の工夫が必要である。								
	効率性	3	講演会の実施にあたっては、概ね効率的な事業運営を行っている。								
	手段の適切性	3	事業内容を工夫する必要はあるものの、手段はおおむね適切である。								
	目的達成度	1	講演会の参加者数が減少しており、事業内容あるいはPR方法に工夫が必要である。								
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了			
区民の耳鼻咽喉の疾患を予防するために、知識の普及啓発は重要であるが、講演会の参加者数は少ないため、PR方法を工夫するとともに、より効果的な事業内容とするよう検討していく。							改善				